

市民バスの運行が見直されます

平成18年7月より運行している市民バスについて、平成23年4月から市民バスの運行を見直すこととなりました。

見直しの内容

利用者数の少ない便などが減便となります。
美和診療所移転に伴う変更があります。

見直しの内容は各地域、各コースによって異なりますので、新しい「市民バス運行表」でご確認のうえ、ご利用ください。

- 「市民バス運行表」の設置場所
 - ・市民バス車内
 - ・市役所本庁（1階 総合案内、3階 企画課）
 - ・各総合支所市民福祉課
 - ・市社会福祉協議会本所、各支所



▲地域ごとに5種類の運行表があります

■問い合わせ先■

企画課 企画調整グループ ☎52-1111（内線323）

各総合支所市民福祉課

山方 ☎57-2121

美和 ☎58-2111

緒川 ☎56-2111

御前山 ☎55-2111

市知ってニュース

茨城県功労者表彰

常陸大宮市消防団の岡山勝彦さん（小田野）が、茨城県知事より功労章を授与されました。



岡山さんは、36年余にわたり、災害現場において消防業務に精励するとともに、指導者として消防団員の育成や技術の向上に努められるなど、さまざまな功績が認められ、今回の表彰となりました。

現在は、常陸大宮市消防団団長として、安全で安心な住みよいまちづくりのためご尽力されています。

自治功労者表彰

浅川功基さん（上大賀）が茨城県市長会長より表彰を受けられました。



浅川さんは、平成12年6月に大宮町代表監査委員に就任され、合併後も常陸大宮市代表監査委員として平成20年4月まで、公平・公正な立場で監査業務にあたられました。

また、平成22年4月からは上大賀地区の区長としてリーダーシップを発揮し、行政と地域のパイプ役となり、地域コミュニティづくりに尽力され、現在もご活躍されています。

千葉国体陸上競技での優勝報告に来庁

平成22年10月23日から25日にかけて、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で行われた「2010全国障害者スポーツ大会ゆめ半島千葉国体」に出場した高校3年生の山崎光さん（泉）が、2月中旬、大会の結果報告に来庁しました。

山崎さんは、陸上競技の50mとスラロームに出場し、2種目で優勝を飾り、50mでは大会記録を、スラロームでは大会新記録を樹立しました。



▲山崎さん：左から2番目

文化財を災害から守る！

1月26日は文化財防火デーです。昭和24年1月26日、奈良県の法隆寺金堂の貴重な壁画が焼損する火災が起きました。これを機に、翌年の昭和25年に文化財保護法が制定され、昭和30年より、火災があつた1月26日が文化財防火デーと定められました。そして、この日の前後に、毎年全国的に文化財防火運動が展開されています。

常陸大宮市においても、教育委員会と消防本部が合同で、市内合計38カ所の文化財所有・管理者を訪問し、消防設備の点検や防災指導を実施しました。

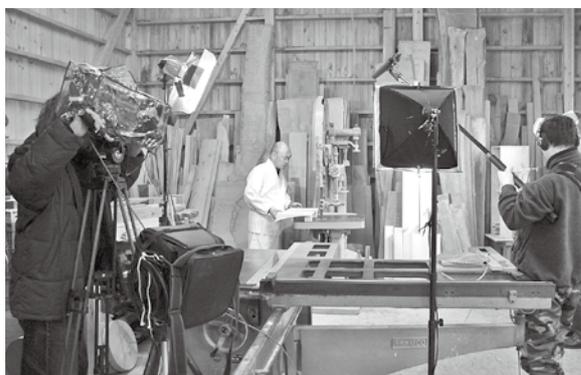


国民共有の貴重な財産である文化財を火災等から守るため、今後市民の皆さんのご協力をよろしくお願ひします。

美和地域で御神宝の製作

美和地域の上檜沢に住む辻徹さんは、平成8年から同地区に工房を構え家具や漆器等の木工製品作りを行つています。

その辻さんが、平成25年に行われる伊勢神宮の式年遷宮で新宮へ納められる御神宝の一つを製作することになり、その製作風景の撮影が、1月下旬、同工房で行われました。静まり返った工房での作業と辻さんの真剣なまなざしに、撮影する側にも緊張が伝わってきました。



茨城みどり農協から お米の寄贈

お米の寄贈

1月27日、市内の小中学校の給食一日分となる精米400キロ「奥久慈の恵うまかつべ」が、茨城みどり農協から市へ寄贈されました。このお米は、常陸大宮市と大子町で生産されたもので、地元の農産物



▲左から三次市長、柏盛幸組合長

手作りのつるしびな

写真のひな飾りは、山方地域の根本肇さん宅のもので、数えきれないほどのつるしびなは、ほとんどが肇さんの妻政子さんの手作りだそうです。

これらを飾り始めたのは約4、5年前。庭の入口には「ご自由に見てください」の看板が掛けられていて、家の方が不在の時でも、ガラス越しに見ることが出来ます。



▲山方小学校1年生の給食の時間
「今日のご飯はいつもよりおいしいね」

の良さを知り、食の安全と安心そして環境について考える機会になればとの願いを込めて寄贈されたものです。これらは、2月17日には山方・美和地域の小中学校の給食で、24日には大宮・緒川・御前山地域の小中学校の給食で提供され、児童・生徒達は地元のおいしいお米を味わいました。



▲エコ活動を写真等で紹介する
エコ展示コーナー

「日ごろのエコ活動！」 学校・企業の取り組み

1月29日、緒川総合センターで常陸大宮市エコライフフォーラムが開催され、約300人の方が会場を訪れました。

事例発表では、緒川小学校と御前山小学校そして未来工業株式会社茨城工場による環境活動が報告され、日頃行われているさまざまな取り組みが紹介されました。

そして、会場内には、電気自動車やリユース（再利用）品の展示、エコ活動を写真で紹介するコーナーが設けられ、一人ひとりが環境保全に意識を持ち、地域で協力して取り組

むことの大切さを改めて認識する機会となったのではないのでしょうか。

また、茨城県では環境に関する意識の啓発のため、コンテスト等が実施されています。

平成22年に実施された「ストップ！地球温暖化いばらき緑のカーテコンテスト」と「大好きいばらきエコチャレンジ2010」に入賞・入選された方々を紹介します。

■ ストップ！地球温暖化いばらき緑のカーテコンテスト
(敬称略)

◎普及部門

優秀賞 村田小学校

努力賞 御前山小学校

◎生育部門（個人の部）

特別賞 木村 秀子（東野）

◎生育部門（団体の部）

特別賞 イオンリテール(株)

イオン常陸大宮店

■ 大好きいばらきエコチャレンジ2010（家庭部門）

◎個人コース（一人当たりの電気

使用量部門）

第9位 安藤 千真（東富）



農業農村

シンポジウムで表彰

2月1日、水戸市の茨城県総合福祉会館で農業農村シンポジウム2010が開催され、土地改良功労者表彰と茨城県美しい水と土づくり優良活動表彰が行われました。

土地改良功労者表彰は、長年土地改良の推進に携わり、事業の推進に顕著な功績があった個人等に贈られるもので、県内では4人の方が受賞され、市内からは玉川沿岸土地改良区理事長の梶山肇司さんが受賞されました。



▲表彰を受ける梶山さん

くりに尽力され、その功績が認められての表彰となりました。

また、「農地・水・環境保全向上対策」や「中山間地域等直接支払制度」に取り組む優良な活動組織と集落に贈られる第3回茨城県美しい水と土づくり優良活動表彰では、県内で14の団体が受賞し、市内からは次の団体が受賞されました。

■ 農地・水・環境保全向上対策部門

優秀賞…岩崎地域資源保全向上

活動組織

代表 助川寛一さん

■ 中山間地域等直接支払制度部門

優秀賞…大岩D集落

代表 堀江鶴治さん

岩崎地域資源保全向上活動組織は、毎年、独自に水路や農道の補修工事を行うなど農業用施設の点検・管理を徹底し、適切な管理を行っています。さらに、遊休農地を借りて、子ども会や高齢者クラブ等と共同で景観作物を植栽することで、地域内のコミュニケーションづくりを図られています。

大岩D集落は、遊休農地で栽培したそばを使い、地元の公民館で集落の住民を対象とした「そば打ち講習会」や「収穫祭」を開催し、集落の農家と非農家が一体となって作業を行い、農村社会におけるコミュニケーションづくりに努められています。

梶山さんは、県営ほ場整備事業の玉川中流地区及び、塩田地区の事業当初の同意取得から事業完了までの23年間の推進活動や農業農村基盤づ

伝えたいあなたへ～青春応援メッセージで入賞

2月9日、茨城県立県民文化センターにて開催された「平成22年度青少年健全育成茨城県推進大会」において、「青春応援メッセージ」優秀作品表彰式があり、青少年の部で大宮小学校6年の大高紗英さんが最優秀賞、一般の部で山崎由美さん（野田）が優秀賞に選ばれ表彰を受けました。

この青春応援メッセージは、(社)青少年育成茨城県民会議が、日頃、青少年が想っていることや友達などの同世代の人へ伝えたいこと、大人から青少年に伝えたいことなどを募集したもので、青少年の部では6,572作品、一般の部では169作品の応募がありました。



▲左：大高さん 右：山崎さん

大高紗英さんの作品

「ありがとう」
 ありがとうって言われると心があつたまる。
 ありがとうって言う心が明るくなる。
 ありがとうって言うことばはみんなを明るくするんだね。

山崎由美さんの作品

「道」
 心が風邪をひいたら「ゆっくり休めばいい。」
 心が元気になったら「ゆっくり走ればいい。」
 長い人生、焦らず自分のペースで。



▲古い道具や古文書など、多くの貴重な資料を展示

企画展「水戸の紙と生産と流通と消費」が開幕しました

2月15日、歴史民俗資料館の企画展が開幕しました。

「水戸の紙」とは、江戸時代に水戸領内で産出された紙のことで、40数種もの紙がすぎ出されたことが分かっています。その中の代表が西ノ内紙と程村紙です。

江戸時代の中頃、関西で出版された諸国の名産品について記した本の中に、全国からすぎ出される数百種にも及ぶ紙の中で、最も上質な紙5種のうちに、西ノ内と程村が上げられています。企画展では、西ノ内紙が、紀州徳川家や尾張徳川家、伊達家、佐竹家の藩主が使う御用紙として納入されていることを示す資料も見ることが出来ます。

また、楮こうの加工や紙すきに使われた古い用具とともに、紙見本として保存されていた幕末にすかれたみごとな紙の実物も展示しています。これらの紙には、紙の種類やすいた人の名前、小田野、鳥子、野沢、高部の仲河戸・東河戸・入檜沢・大貝など紙がすぎ出された村の名も書かれています。皆さんのご先祖様がすいた紙があるかもしれません。

これらの紙がどのように江戸へ運ばれ、どのように使われたか、また、様々な加工を施されて、人々の生活に潤いをもたらしたか、ぜひ資料館に足を運んでご覧ください。紙の新たな可能性を実感されることでしょう。

企画展は4月10日まで開催。休館日は月曜日です（ただし、春分の日3月21日は開館）。楮の栽培・加工、西ノ内紙製造の工程を詳細に記録した映像を館内で随時放映。来館者にはオールカラー16頁の展示解説を差し上げています。



▶和紙で作った作品を展示し、写真パネルにコメントを書き込んで、「コウゾを育てて和紙を漉こう！」の活動も無事終了

みんなで作ったたくあん おいしいよー!



写真は大宮幼稚園のお昼の様子です。園児が、はしでつまんで見せてくれているのは「たくあん」。家から持ってきたお弁当と一緒に食べています。

実はこのたくあんは手作り。園の畑に年長さんが9月に種をまき、年中さんが12月に収穫し、園の先生が12月下旬にたると漬け、みんなで役割分担して作ったそうです。

園児達は、手作りのたくあんが出されるお昼の



時間を楽しみにしています。

音楽万歳!

2月19日、緒川総合センター大ホールで、市内7つの中学校と2つの高等学校の生徒約180人が参加し「第3回Music Festival」音楽万歳」が開催されました。

第1部は学校ごとの吹奏楽部による演奏、第2部は学年ごとの合同演奏が行われ、迫力ある演奏が披露されました。

また、プログラムの最後に行われた合唱は、楽器と歌声が重なり合い一つになって、心に残る演奏となりました。



いっしょにまちづくり

茨城大学との交流に期待

河野 達之さん

常陸大宮市では、平成17年以来茨城大学と地域連携事業を進めている。市内の各種事業に大学生が訪れたり、市民が大学の行事等に参加したりしている。



平成20年に、オーストラリアの生徒達が市内にホームステイした折、引率した8人の先生を会津若松の鶴ヶ城に案内した。その時8人の大学生が参加し通訳を受け持ち、国際交流協会の会員達との交流を深めることが出来た。

また、平成23年の正月に行われた国際交流フェスティバルに、アジアからの留学生が大勢参加し、各ブースで日本文化に触れ、参加者と親しく交流した。

今後も国際交流に限らず、市内の各種事業を通して茨城大学との交流活動が、さらに活発になることを期待したい。

・市と茨城大学とは相互に連携協力し「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」を目指して各事業に取り組んでいます。

常陸大宮市防災訓練実施

2月20日、美和中学校を会場に、市内の防災関係機関、消防団員、学校、PTA及び地域住民等併せて約530人が参加し、防災訓練が実施されました。

訓練は、茨城県北地方にマグニチュード7の大規模な地震が発生し、市内でも震度6強を観測、建物の崩壊や火災等の被害が発生しているとの想定で実施されました。

地域住民の消火器による初期消火訓練や応急担架の作成訓練等の他、ドクターヘリによる運用訓練や防災



航空隊による救助訓練も行われ、参加者は本番さながらの訓練に真剣に取り組んでいました。



平成22年10月1日現在で実施しました国勢調査にご回答いただきありがとうございました。
常陸大宮市の人口速報集計結果をお知らせします。

常陸大宮市の人口(平成22年10月1日現在)

人口総数 45,177人
世帯数 16,082世帯

国勢調査の結果は、国や都道府県・市区町村で行う行政施策の他、福祉政策や防災対策など私達の暮らしのために活用されます。

平成22年国勢調査の情報はここから

いばらき統計情報ネットワーク

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/>

国勢調査 e-ガイド

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/kouhou/index.htm>

■問い合わせ先■

総務部企画課情報・広報グループ

☎52-1111 (内線382)

移動市長室開設

2月21・24・25日に、移動市長室を市内5地域で開設しました。20年度から実施している移動市長室は、市政を身近に感じていただくことを目的として開設しています。移動市長室は、市民の皆さんの声を市政に生かしていくため、今後も継続して開設していきます。



▲美和総合支所での懇談の様子

知って得する
消費者情報⑦

クリーニングトラブルに遭ってしまったら

クリーニングに出しておいたジャケットやブラウス。「さあ、着よう」と思ったら染みが出来ていた、こんなことはないですか？
もしトラブルに遭ってしまったら、なるべく早めにクリーニング店に申し出ましょう。時間が経つと解決が困難になる場合があります。
トラブルを回避するためには、クリーニングに出す時と受け取った時に衣類の状態をカウンターで十分にチェックすることが重要です。



クリーニングに出す時の注意について

- ・染みや汚れの場所や原因を伝えましょう。
- ・特殊な装飾ボタンや付属品ははずしておきましょう。
- ・特殊な加工や素材で注意して欲しい点があれば伝えましょう。
- ・ポケットの中に忘れ物がないか確認しましょう。

万一、クリーニング店の責任による事故が起こった場合、SマークやLDマークを掲示している店では、クリーニング事故賠償基準を参考にして賠償されます。ただし、受け取ってから6カ月以上経過した場合は、支払いを免れる規定がありますので、注意しましょう。

Sマーク

厚生労働大臣認可の標準営業約款に基づく営業店

LDマーク

全国クリーニング生活衛生同業組合連合会への加盟店

困った時は消費生活センターに相談してください。

■茨城県消費生活センター

☎029-225-6445

■常陸大宮市消費生活センター

☎52-2185 (直通) (本庁商工観光課内)